



平成 22 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22 年 7 月 29 日

上場会社名 カンロ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2216 URL <http://www.kanro.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 村上 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高木 庸 (TEL)03(3385)8811
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 8 月 11 日 配当支払開始予定日 平成 22 年 8 月 31 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 12 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 12 月期第 2 四半期	9,957	△6.0	604	△20.5	596	△20.6	337	△22.3
21 年 12 月期第 2 四半期	10,592	—	759	—	751	—	434	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 12 月期第 2 四半期	18.31	—
21 年 12 月期第 2 四半期	23.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 12 月期第 2 四半期	15,924	10,359	65.1	561.88
21 年 12 月期	15,552	10,140	65.2	549.96

(参考)自己資本 22 年 12 月期第 2 四半期 10,359 百万円 21 年 12 月期 10,140 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 12 月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22 年 12 月期	—	6.00	—	—	—
22 年 12 月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 22 年 12 月期の連結業績予想 (平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	20,000 △3.4	1,150 △16.7	1,150 △15.9	620 △18.8	33.63

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年12月期2Q	19,544,505株	21年12月期	19,544,505株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

22年12月期2Q	1,107,692株	21年12月期	1,106,677株
-----------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

22年12月期2Q	18,437,411株	21年12月期2Q	18,441,405株
-----------	-------------	-----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で得られた情報にもとづいて算定しております。従って実際の業績は業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。なお、業績予想に関しましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報」（3）連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 3
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（以下、上期）におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にありましたが、ギリシャ財政危機に端を発した欧州信用不安や米中景気の減速懸念などによりやや先行き不透明感が強まってきております。

菓子業界を取巻く状況は原材料価格が全般的に落ち着きを取り戻しているものの高値で推移しており、特に主原料である砂糖が高騰を続ける一方、消費者の購買意欲は依然低迷しており、低価格競争が激しい小売業界も前年割れが続くなどデフレ傾向が強まる中、メーカーにとっては厳しい経営環境が続いております。

このような厳しい経営環境の下、当企業集団はナショナルブランドメーカーとして安易に価格競争に巻き込まれず適正な販売価格維持に努め、主力既存品の売上拡大のために地域を絞ったTVCM及びこれと連動した店頭キャンペーンなど効果的なエリアマーケティング活動を展開すると共に、みやげものなどの新規チャネルの拡充を積極的に進めてまいりました。また、収益力強化のために既存の製造ラインを改造して生産性の向上に努めると共に将来の製品開発に向けて新製法製造ラインの導入とグミ新工場の建設にも着手いたしました。

しかしながら、当上期売上高は第1四半期に続き、第2四半期も前年割れとなりました。また、利益につきましても、売上高の減少とこれに伴う生産高の減少により生産効率が悪化し、製造原価率が上昇したため、前年同期比減益となる厳しい業績となりました。

営業面につきましては、キャンディの当上期売上はグルメ群が「アーモンドスウィーツ克蘭チキャンディ」などの新製品の売上寄与もあって前年同期比増加となりましたが、のど飴群が第1四半期に前年割れとなり、回復の兆しは見受けられるものの前年同期比減少、グミ群の売上も2月以降前年を下回る傾向が続く前年同期比減少となるなど厳しい状況にありました。素材菓子売上は茎わかめ製品群が前年同期比減少しましたが、新製品などの売上増もあって略前年同期並みとなりました。この結果、当上期売上高は前年同期比6億34百万円（6.0%）減収の99億57百万円となりました。

利益面につきましては、売上高が減少したこと、主要原材料価格は砂糖類を除き略前年同期比低下しましたが、生産高が減少して労務費率・製造経費率を押し上げて製造コストアップとなったことにより、売上総利益は前年同期比3億58百万円（7.0%）減益の47億70百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費は、売上高減少に伴う販売経費・配送費の減少と広告宣伝費や一般費の抑制に努めた結果、前年同期比2億3百万円（4.7%）減少の41億66百万円となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比1億55百万円（20.5%）減益の6億4百万円、経常利益は前年同期比1億55百万円（20.6%）減益の5億96百万円、四半期純利益は前年同期比97百万円（22.3%）減益の3億37百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、前期末に比べ3億72百万円（2.4%）増加し159億24百万円となりました。

これは主に売上債権が5億86百万円減少しましたが、有形固定資産が10億41百万円増加したことによるものです。

負債の部は、前期末に比べ1億52百万円（2.8%）増加し55億65百万円となりました。

これは主に未払金等の流動負債が1億46百万円増加したことによるものです。

純資産の部は、前期末に比べ2億19百万円(2.2%)増加し103億59百万円となりました。

これは主に四半期純利益3億37百万円による増加と、配当金1億10百万円の支払によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当上期業績は、前回公表(平成22年4月30日)に対して売上高6億42百万円、営業利益45百万円、経常利益53百万円、四半期純利益12百万円がそれぞれ下回ることとなり、前年同期比減収減益の厳しい結果となりました。

当第3四半期以降の下期においても、景気は緩やかな回復基調が続くものの景気先行きに対する不透明感は払拭できず、消費者の生活防衛意識と節約志向も依然として根強く、個人消費は低迷した状況が続くものと予想されます。

当企業集団としては、引続き効果的なエリアマーケティングの展開と新規チャネルの拡充に努め、袋のど飴・グルメキャンディ・ピュレグミなどの主力既存品の売上拡大、新製品の発売と定着化、ブランド化を図る所存ですが、キャンディ市場の動向を勘案して下期売上高は前回公表に対して約2億500百万円程度減少するものと予想しております。

下期利益につきましては、効率的な販売促進活動、SCMによる製品開発から生産・販売におけるロスコストの削減、物流改革による配送費の低減、一般管理費の抑制など更なるコスト削減を進めますが、売上高が減少すること及び主原料である砂糖類の価格上昇が見込まれることより前回公表よりは若干減少するものと予想しております。

以上、上期実績に加え下期の計画を見直した結果、通期業績予想につきましては、前回公表に対して売上高は9億円減少の200億円、営業利益及び経常利益は1億円減少の11億500百万円、当期純利益は600百万円減少の6億200百万円と予想しております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,728,345	1,729,280
受取手形及び売掛金	4,108,193	4,694,865
商品及び製品	399,559	438,968
仕掛品	10,625	2,591
原材料及び貯蔵品	147,127	131,947
その他	354,772	366,284
流動資産合計	6,748,624	7,363,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,150,219	5,991,177
減価償却累計額	△3,870,279	△3,773,802
建物及び構築物(純額)	2,279,940	2,217,375
機械装置及び運搬具	10,193,418	9,765,552
減価償却累計額	△7,106,792	△6,969,358
機械装置及び運搬具(純額)	3,086,625	2,796,194
土地	1,987,222	1,987,222
建設仮勘定	827,964	159,738
その他	811,189	761,939
減価償却累計額	△627,081	△597,745
その他(純額)	184,107	164,193
有形固定資産合計	8,365,860	7,324,723
無形固定資産		
投資その他の資産	78,011	69,997
投資有価証券	279,328	291,081
その他	453,144	503,135
投資その他の資産合計	732,472	794,217
固定資産合計	9,176,344	8,188,938
資産合計	15,924,969	15,552,877

(単位：千円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,520,844	1,576,148
未払金	923,320	597,152
未払費用	1,449,493	1,221,941
未払法人税等	175,636	334,852
賞与引当金	130,450	234,301
役員賞与引当金	20,000	40,000
その他	74,415	143,685
流動負債合計	4,294,160	4,148,081
固定負債		
退職給付引当金	1,022,586	971,023
役員退職慰労引当金	191,270	251,230
その他	57,691	42,487
固定負債合計	1,271,547	1,264,741
負債合計	5,565,707	5,412,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,642,796	2,642,676
利益剰余金	5,151,616	4,924,563
自己株式	△298,357	△297,836
株主資本合計	10,360,305	10,133,653
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,043	6,400
評価・換算差額等合計	△1,043	6,400
純資産合計	10,359,261	10,140,053
負債純資産合計	15,924,969	15,552,877

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	10,592,097	9,957,697
売上原価	5,462,812	5,187,352
売上総利益	5,129,285	4,770,344
販売費及び一般管理費	4,369,859	4,166,341
営業利益	759,426	604,002
営業外収益		
受取利息	965	790
受取配当金	3,871	3,916
技術指導料収入	1,858	1,797
その他	5,042	8,576
営業外収益合計	11,738	15,081
営業外費用		
支払利息	—	608
退職給付費用	15,747	15,747
その他	3,746	6,275
営業外費用合計	19,494	22,631
経常利益	751,670	596,452
特別利益		
入会保証金売却益	—	390
特別利益合計	—	390
特別損失		
固定資産除却損	4,832	4,398
減損損失	2,546	386
特別損失合計	7,378	4,785
税金等調整前四半期純利益	744,291	592,057
法人税、住民税及び事業税	235,800	179,832
法人税等調整額	73,713	74,545
法人税等合計	309,513	254,378
四半期純利益	434,777	337,679

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。